

第 1 回三木市教育振興基本計画検討委員会 意見要旨

1 開催日時

令和 7 年 5 月 2 7 日（火） 午後 7 時～午後 8 時 3 0 分

2 開催場所

三木市役所 5 階大会議室

3 意見要旨

「第 4 期三木市教育振興基本計画」の策定方針について

（主な意見）

- 「三木市教育大綱」には、就学前教育・保育の充実に関する記載もある。このため、小・中学生の保護者のみならず、就学前児童の保護者に対しても、アンケート等で意見聴取していただきたい。
- 計画のスリム化（取り組むべき重点施策への焦点化）は、それ自体を目的として何がなんでも行うのではなく、計画の最適化を行う中で、結果として達成できればよいものである。
ページ数ありきではなく、読んだ時に、いかに共感して納得が得られる計画となるかが重要であると考えている。
- 「人をつくる」という目的も計画の中に含まれると、文化やスポーツ振興など、さまざまな活動が人材育成につながってくるのではないかと。
- 市の計画はそれぞれ部局横断型であり、一つの部内では収まりきらない課題が非常に多くなっている。担当、課長、部長レベルでそれぞれ意見交換しながら、連携しているのが実情である。
- 人権政策に関しても別途計画を策定しており、教育に関する部分の記載もある。人権に関する計画と教育振興基本計画と相互に意思統一を行い、相互の役割を持って取り組んでいけるよ

う、提案・提言していきたい。

- 計画が組織を横断して参照されたり、結び付いたりすることもあるので、可能であれば、具体的な文言として、「他部局とも連携しながら」と入れてほしい。
- 女性や若い世代が地域や公の活動にどんどん参加するようになり、担い手となってくればよいと思う。
- P T A 役員のなり手がおらず、1 人が長期間、担当することになりがちである。
また、就学前児童の保護者が小・中学校に関する情勢の変化について、あまり認識していない。
- 「人任せではなく、自分たちが担う」という考え方が、計画策定の全体を通じて大切なものとなるのではないか。
- 故郷である三木を愛する子どもたちを育てたい。
- どのように子どもたちの意見を聴取し、どのように施策に反映するのかということは、三木市でもこども福祉課を中心に令和 7 年度に本格的に進めたいと考えており、子どもたちへのフィードバックの方法も含め、この委員会で共に検討していきたい。
- それぞれの立場からの思いもあり、いろいろな意見をいただいた。次回の協議においても、いろいろな気づきが互いにある中で、よりよい計画ができていけばよいと思う。